



「運用しながら取り崩すこと」でお金を長生きさせる

過去30年、20年、10年の残高と取崩額の推移。

資産を成長させ、使っても減らない仕組みづくりをしよう！

※1973年～2024年の全ての期間（52年間）で残高がマイナスになっていません

表にある取崩額を毎年使っても、運用残高が減りません。

お金は使いたいのですが、減るのが怖くて使えないのが現実です。

このシステムを手に入れる事で、安心して自分のお金を使って

「楽しく幸せな人生」を送る事が出来ます。

全世界株部式は短期的には変動を伴いながらも、世界経済の成長と共に
長期的には順調に上昇して来ました。
世界経済は今後も人口増加等を背景に持続的な成長が予想されており、
全世界株式への投資により世界経済の成長を享受することが期待できます。

20年前に3000万円を投資信託に投資して
毎年6%取崩した結果↓

定率取崩			
投資額：万円	3000		
年間取崩率%	6.0%		
122.4%	2003	2005	
108.3%	2004	運用残高	取崩額
127.0%	2005	3,473	222
119.9%	2006	3,913	250
107.7%	2007	3,963	253
49.9%	2008	1,857	119
139.9%	2009	2,442	156
97.3%	2010	2,234	143
86.9%	2011	1,824	116
134.4%	2012	2,305	147
152.8%	2013	3,310	211
116.7%	2014	3,631	232
104.7%	2015	3,573	228
97.8%	2016	3,285	210
123.3%	2017	3,808	243
90.8%	2018	3,249	207
127.6%	2019	3,898	249
125.5%	2020	4,599	294
130.0%	2021	5,622	359
84.1%	2022	4,443	284
131.8%	2023	5,506	351
128.9%	2024	6,673	426
		取崩累計	4,699

10年前に3000万円を投資信託に投資して
毎年6%取崩した結果↓

定率取崩			
投資額：万円	3000		
年間取崩率%	6.0%		
152.8%	2013	2015	
116.7%	2014	運用残高	取崩額
104.7%	2015	2,864	183
97.8%	2016	2,633	168
123.3%	2017	3,052	195
90.8%	2018	2,604	166
127.6%	2019	3,124	199
125.5%	2020	3,686	235
130.0%	2021	4,506	288
84.1%	2022	3,561	227
131.8%	2023	4,413	282
128.9%	2024	5,348	341
		取崩累計	2,285

30年前に3000万円を投資信託に投資して
毎年6%取崩した結果↓

定率取崩			
投資額：万円	3000		
年間取崩率%	6.0%		
112.5%	1993	1995	
91.2%	1994	運用残高	取崩額
123.5%	1995	3,378	216
130.9%	1996	4,156	265
127.7%	1997	4,990	319
110.4%	1998	5,179	331
125.9%	1999	6,131	391
102.6%	2000	5,911	377
104.3%	2001	5,793	370
75.2%	2002	4,098	262
122.4%	2003	4,715	301
108.3%	2004	4,800	306
127.0%	2005	5,730	366
119.9%	2006	6,456	412
107.7%	2007	6,537	417
49.9%	2008	3,064	196
139.9%	2009	4,028	257
97.3%	2010	3,686	235
86.9%	2011	3,009	192
134.4%	2012	3,803	243
152.8%	2013	5,461	349
116.7%	2014	5,990	382
104.7%	2015	5,895	376
97.8%	2016	5,419	346
123.3%	2017	6,282	401
90.8%	2018	5,360	342
127.6%	2019	6,430	410
125.5%	2020	7,587	484
130.0%	2021	9,274	592
84.1%	2022	7,329	468
131.8%	2023	9,083	580
128.9%	2024	11,008	703
		取崩累計	10,888